



3年生で主将の鶴優希さんは「支えてくれる人に感謝し、一秒にこだわって全国で8位入賞を目指す。悔いが残らないよう全力を尽くします」と誓いました

## 全国・九州大会での活躍を誓う 小林中陸上駅伝部が出場報告

11月30日、小林中学校陸上駅伝部が、12月18日に開催される全国中学校駅伝大会（滋賀県）と12月4日に開催される九州中学校駅伝競走大会（沖縄県）への出場を鶴水副市長に報告しました。11月14日に宮崎市で開催された県大会では、男子が優勝、女子が準優勝。全国大会には男子チームが、九州大会には男女そろって出場しました。

## 小林史談会 70周年記念講演会開催

11月26日、郷土史の究明や伝承を守るために活動する小林史談会の設立70周年記念講演会が開かれました。県文化財保護指導員上谷川則男氏の「木崎原の戦い」についての講演に加え、同会会員の深草芳彦氏による「西郷隆盛」についての研究発表も行われました。



## 北西三区が宝くじ「コミュニティ助成事業」を活用し備品を整備

北西三区が、一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」の助成金を受け、西ノ原農村集会所に映写機設備や音響設備、会議用テーブルなどの備品を整備しました。同助成金は宝くじの受託事業収入を財源としており、地域コミュニティ活動の発展や活性化を図るため、全国で社会のために役立てられています。



西ノ原農村集会所に整備された映写機設備・音響設備（写真㉔）と、会議用テーブルとイス（写真㉕）

## 誘致企業の秘書センター株式会社「小林ひなたオフィス」を開設

11月21日、コールセンター業務などを行う誘致企業の秘書センター株式会社宮崎支社（橋口和悦支社長）が「小林ひなたオフィス」を開設することにあわせ、市と子育て世帯の採用強化に向けた連携協定を締結しました。同社は市と連携し、短時間勤務制度の積極的な導入や就職支援金の支給などを通じて、子育て世帯を応援します。



橋口支社長は「クレーム対応のない優しいコールセンターを目指す。結婚や育児後も女性が社会復帰できる仕組みを定着させたい」と話していました

## 郷土の文学者・詩人黒木清次氏をしのぶ

11月20日、須木地区で黒木清次文学碑祭りが開催されました。須木出身の文学者で詩人の黒木清次氏の業績をたたえるもので、当日は同氏の詩「朝の鶴」が朗読されたほか、市内小中学生から応募のあった735編から選ばれた詩の授賞式も開催されました。



須木小6年の永迫志穂さんは「プログラミングでいろいろなものを作れると分かりました。来なかった下級生にも教えてあげたい」と話していました

## 小林秀峰高校で体験授業を開催 須木小児童がプログラミングに挑戦

11月14日、小林秀峰高校でプログラミング体験授業が行われ、須木小4～6年の児童25人が参加しました。論理的思考の育成や地元の高校に興味を持ってもらうことを目的に昨年からは開催しているもので、情報ソリューション科の生徒が指導を担当。児童たちは、ボタンを押すと無作為にサイコロの目が出るプログラムに挑戦しました。

## 南小児童がラジオの公開録音に挑戦

11月20日、MRTラジオ番組「んダモシタン西諸Radio」の公開録音が行われ、南小5・6年生が参加しました。公開録音にあわせて、こばやしPR大使で番組パーソナリティのシンガーソングライター、大野勇太さんによるコンサートも行われました。



## 子どもたちの健全な成長を願って

12月6日、小林ライオンズクラブ（青木浩朗会長）が市内小中学校にほうきなどの環境美化用品を寄贈しました。寄贈は、青少年育成事業の一環として、昭和53年から毎年実施。青木会長は「学校での美化意識向上に活用してほしい」と話していました。



## 広報紙や議会だよりの音訳を行う朗読友の会がグループ奨励賞受賞

視覚障がいがある人向けに音訳ボランティア活動を行う小林朗読友の会（水間節子会長）が、公益財団法人鉄道弘済会の「朗読録音奉仕グループ奨励賞」に選ばれ、11月12日、小林市社会福祉協議会で伝達式が行われました。朗読録音奉仕者の養成活動に熱心に取り組んでいることなどが評価され、今回の受賞につながりました。



小林朗読友の会は昭和58年5月に設立し、現在は約30人が活動。広報紙や議会だよりの音訳ボランティアに長年取り組んでいます

## 子ども・女性・高齢者・医療従事者を守る 小林警察署と西諸医師会が連携協定

11月16日、小林警察署（日高貴署長）と西諸医師会（内村大介会長）が、子ども・女性・高齢者・医療従事者を犯罪から守るための協定を締結しました。警察署は医療従事者への防犯対策や、医療機関などで不当要求などを繰り返す利用者に対する防犯対策を推進。医師会は児童虐待の情報提供や、うそ電話詐欺防止の啓発で警察に協力します。



協定は県内初の取り組み。両者は、医療従事者が被害者となる事件や、社会問題となっている児童虐待・うそ電話詐欺などを防ぐため連携していきます

## 地域に根差して 150 年、小林小・須木小・野尻小で記念式典

市内小学校3校（小林小・須木小・野尻小）が今年で創立150周年を迎え、11月12日には野尻小、11月19日には須木小、12月11日には小林小で記念式典が開催されました。3校は明治5年(1872年)に公布された学制により、各地に小学校創設が進められるなかで創立されました。各学校ではそれぞれ児童による合唱や寸劇、学校の歴史発表などが行われ、創立150周年を児童や地域住民が祝いました。



Photo 1 式典の様子(小林小) / 2 小林小のシンボル(くすの木)が描かれた記念トートバッグとペナント / 3 式典の様子(須木小) / 4 須木出身のガラス工芸作家 黒木国昭氏が須木小に寄贈した作品 / 5 野尻小の校章モチーフである桜を人文字で作成 / 6 野尻小児童の手形で作成した桜のアート作品



## 今年も小林のまちを鮮やかなイルミネーションが照らしています

11月27日に駅南公園と野尻庁舎で行われた点灯式を皮切りに、小林地区と野尻地区で鮮やかなイルミネーションがまちを照らしています。

小林地区ではJR小林駅周辺が鮮やかに装飾され、野尻地区では国道268号沿いの住宅や店舗約2キロ、大塚原公園、野尻庁舎を約75万球で装飾。訪れた人たちを楽しませています。



### 【期間・点灯時間】

小林地区 (JR小林駅周辺)

1月6日(金曜)まで / 17時30分～21時

野尻地区 (国道268号線沿い、大塚原公園、野尻庁舎)

1月7日(土曜)まで / 17時30分～23時



細野中2年の藤田智大さんは「努力して夢をつかんだ華先輩を見習って、自分も夢に向かって目標を立てて、一生懸命がんばりたい」と話していました

## プロゴルファー 脇元華さんが講演 母校の後輩たちにエール

12月8日、プロゴルファーの脇元華さん(細野小中卒業)が、細野小6年生・細野中全校生徒約180人に向けて講演しました。脇元さんは自身の経験などを踏まえ、「夢に挑戦すると苦しいときの方が多いが、神様は乗り越えられる試練しか与えない」とアドバイス。「細野で大きく学び、素敵な大人になって」と後輩たちにエールを送りました。

## 須木地区で太極拳講座を開催 下半身を鍛え、心もリラックス

11月29日、須木総合ふるさとセンターのホールで、小林市社会福祉協議会須木支所主催の太極拳入門講座が開催されました。前田隆一須木支所長の指導のもと、講座参加者6人は気功法と太極拳の実技を行いました。参加者の渡邊祥子さんは「腹式呼吸で心が落ち着き、体が温かくなっていくように感じました」と話していました。



太極拳入門講座は毎週火曜日14時から、須木地区住民を対象に須木総合ふるさとセンターで開催しています(社会福祉協議会須木支所 TEL 48-2073)

## 日本語や日本文化などを学ぶ 地域日本語教室 KIZUNA を開催

9月～12月に、外国人市民に生活に必要な日本語や文化などを学んでもらう地域日本語教室 KIZUNA を開催しました。11月13日の第5回と12月11日の第8回では、小林高校2年の清水芽衣さんと園田倭子さんが中心となって企画。第5回では浴衣の着付け体験、第8回では年賀状文化を紹介し、参加者同士で年賀状を交換しました。



自作した年賀状を交換したライリ・ヌル・サフィトリさんは、「年賀状の交換はインドネシアにはない文化で初体験だったが、楽しかった」と話していました



これから3年間、地域住民の相談相手として、また行政とのパイプ役として、地域福祉のために尽力いただきます

## 地域福祉の大きな推進力 民生・児童委員を120人に委嘱

12月1日、民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、文化会館で委嘱状交付式が行われました。新たな委員35人を含む120人に厚生労働大臣からの委嘱状を交付。任期は、12月1日から令和7年11月30日までの3年間になります。また、今回退任した36人の委員には、長年にわたる地域貢献の功績をたたえ、感謝状が贈呈されました。